特集・挑戦する日本の経営者たち

長野産業人クラブ

概　要

◇２０１０年（平22）12月７日設立　会員数　２７人
◇事務局所在地　＝　長野市居町90の１、パークタウン90―507（日刊工業新聞社長野支局内）
◇電話　＝　０２６・２４１・５０１０

会長インタビュー

刺激受け奮起する場に

太田　哲郎氏
（オリオン機械社長）

長野産業人クラブは２０１０年12月７日に長野県の北信と東信地域の経営者を中心に会員25社でスタート。その後、２社が加わった。ベテランの経営者に交じって若手経営者や後継者も多く、各会員が手がける事業内容もバラエティーに富む。会長の太田哲郎オリオン機械社長に運営方針を聞いた。

―古くから日本産業界をけん引してきた土地柄です。

「長野県の産業は明治から昭和にかけて製糸業に始まり、戦後に精密機械工業を代表とする製造業が集積する地域として発展してきました。内陸に位置しながら時代の変遷の中で各企業が自らの創意工夫により事業転換を図ってきたというのが大きな特徴です。今では県内企業が機械、電機、電子、情報、輸送といった日本を代表する産業を支える存在となっています。また、当県は独自性を打ち出す開発型企業を目指している企業が圧倒的に多いとみています」

―新たな動きも活発です。

「しかしながら、本県は他県と同様、リーマン・ショック後の不況、円高、産業の空洞化といった荒波にさらされているのも事実です。成長著しい中国やアジアの企業との競争に生き残りをかける一方、より積極的な姿勢で需要拡大が期待できる新興国市場に売り込みをかける必要もあります。そこで当クラブは会員相互の情報交換や交流などを通じ、事業への情熱や誠実な姿勢を失わない〝信州人〟経営者として、逆境にも打ち勝てるような活動を行っていきたいと考えています」

―クラブの活動については。

「具体的には講演会やパネル討論、工場など各種施設の見学会、会員間や他の異業種団体との交流会などの開催を考えています。今年度の活動としては３月に製造業とは異なる分野で活躍する一流の人材を招き、長野市でパネルディスカッションを開く計画です。当クラブは若手経営者や後継者が多いだけに、時代の変化にうまく方向転換できる感性といったものを若い人にも養ってほしいと思います」

―どんな活動に力を入れていきますか。

「長野県人の気質を表現する言葉として『理多くして事進まず』があります。長野県人は昔から真面目で議論好きと言われてきました。しかし、この言葉は議論するけれども物事が前に進まないことを皮肉ったものです。変化の激しい時代において、経営者に求められているのは〝実行力〟です。議論しているだけではいけません。そこで私は当クラブを県外の産業人クラブ会員と交流して刺激を受けて奮起するような場にしたいと思っています。今春以降、会員の勧誘に力を入れるとともに、交流活動も本格化する方針です。長野県産業がより一層発展していくためにも若くて元気のある組織にしたいと考えています」

3月に初イベント

長野産業人クラブ（太田哲郎会長＝オリオン機械社長）は２０１０年12月の設立。設立総会では工場見学会、講演会、懇親会などの企画・運営、会員間の相互交流を図るなどの活動方針を決めた。総会後には橋本久義政策研究大学院大学教授が「モノづくり中小企業の底力」と題する記念講演を行い、懇親会で阿部守一長野県知事ら来賓や会員がクラブの門出を祝った。

現在、クラブ会員は27社で若手経営者を中心に30―40代の会員が半数を占める。今後は、意欲ある若手会員がクラブ運営の中核的存在となる見通しだ。３月には若手経営者の発案により長野市で初イベントとなるパネルディスカッションを開く予定。芸術的な感性を取り込んだ新しいモノづくりの方向性を探っていく。

他の産業人クラブや異業種団体との交流にも力を入れる。長野産業人クラブの設立に先駆けて昨年６月に行った東京、埼玉、群馬、新潟の各産業人クラブ会員と長野県内企業との交流会には合計約70人が参加。工場見学会なども好評だったことから、今後も継続して実施していく方針だ。

設立総会後の記念講演会には会員や関係者が多く詰めかけ、熱心に耳を傾けていた（昨年12月、長野市）

多摩産業人クラブ

概　要

◇２０１０年（平22）10月25日設立　会員数　２１人
◇事務局所在地　＝　東京都立川市曙町２の38の５、立川ビジネスセンタービル（日刊工業新聞社西東京支局内）
◇電話　＝　０４２・５２４・５７２１

会長インタビュー

次代を切り開くために

臼井　努氏
（京西テクノス社長）

２０１０年10月に全国21番目のクラブとして産声を上げた多摩産業人クラブ。社業に誇りを持つ東京・多摩地域の若手経営者と後継者の会として組織され、相互研鑽（けんさん）によって次代を切り開いていくことを目指す。初代会長の臼井努京西テクノス社長に今後の運営方針などを聞いた。

―多摩産業人クラブの性格は。

「製造業をはじめとした中堅・中小企業の若手経営者と後継者が集まり、会員21社で旗揚げした。設立時の平均年齢は40・３歳。若さあふれる集団であるとともに、各社とも先進的な経営や競争力の高い技術を所有し、地域の中でも存在感のある企業が名を連ねている」

―活動にあたり理念をどう掲げ、組織を運営していきますか。

「クラブは不況の長期化や中国の台頭など、日本経済が停滞している状況下で立ち上がった。そうした時代にあって、モノづくりなど社業に誇りを持つ企業が集い、次代を切り開いていく、このことを設立の理念にした。事務局となる日刊工業新聞社西東京支局ともこの理念は共有できている。今後、我々中小企業の前には幾重もの難局が立ちはだかるだろうが、会員同士で研鑽を積み、成長していきたい」

―事業展開の考え方を聞かせて下さい。

「『学び』を重視していく。会員は経営者として日々、重要な経営判断を下している。判断のよりどころはお客さまの声であったり、時代の流れを読むことであったりするが、迷い悩むことも少なくない。また、事業の革新や新たなビジネスを創造できないか、とアンテナを高くしている。今できる最善の判断を下すために、あるいは新たなビジネスのヒントがつかめるように、学びの場にしていきたい」

「会員同士が本音で語り合える場にもしたい。中小企業として似た境遇を持つ者の集まりであり、悩みを抱えているテーマについて、腹を割って話し、互いに〝いいとこ取り〟をする関係づくりをしていく」

―多摩地域の魅力をどうとらえていますか。

「この地は人口４１７万人を数え、都道府県レベルで比較すると９位の福岡県と10位の静岡県の間に入る規模になる。また東京都の統計によると、製造品出荷額は23区を上回る４兆８７８億円に上る。さらに国道16号線沿いの埼玉県南部から神奈川県央部までの『広域多摩』と呼ばれるエリアの域内総生産（ＧＤＰ）は25兆円以上といわれる。これはアメリカのシリコンバレーの約２倍の規模になる。このように産業が集積した大都市圏で多摩産業人クラブ会員同士が横の連携を深め、地域の先頭に立つ中堅・中小企業の集団を目指し活動を展開していく」

「学び」重視 活動開始

２０１０年10月に旗揚げした多摩産業人クラブ（臼井努会長＝京西テクノス社長）は、今月10日に初の事業を実施し本格的な活動を開始した。事業方針に掲げる「学び」を重視し、プログラムでは千葉県船橋市の森精機製作所千葉事業所を訪問。森雅彦社長の講演と複合加工機工場となる事業所を視察した。その後、東京都渋谷区にある暗闇のエンターテインメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」を体験し、会員同士の交流を深めた。

今月10日の森精機千葉事業所での森社長との対話式講演会

森社長の講演は、設立総会で庄山悦彦日立製作所相談役を招いた記念講演「誇りを胸に―モノづくりの心」に続く大物経営者による講演の第２弾。今回は「世界の製造業を相手にビジネスする森社長の経営観に直接触れたい」という会員の意向を踏まえ、森社長との対話形式で進行した。

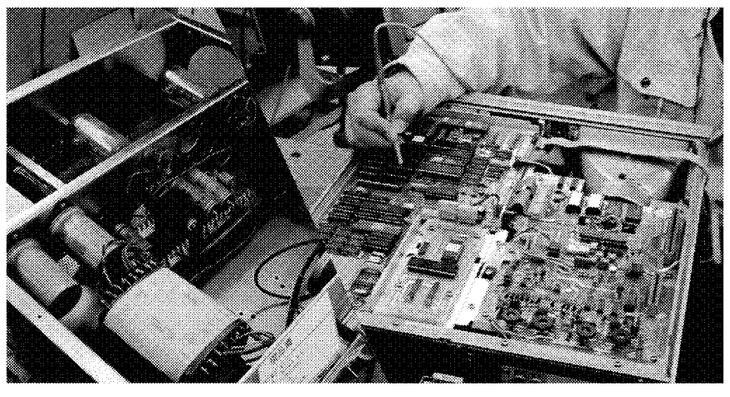
参加13会員からは「新興国が台頭する中で日本の中小製造業がとるべき策は何か」「トップの考えを社員にどうやって伝えるか」といった日ごろの悩みや経営のヒントを得ようとする質問が続出。森社長はその一つひとつに具体例や自らの考え方を披露し、質疑応答は予定時間をオーバーし約70分にわたって続いた。

Science & Art により新たな価値を創造する
NiKKi Fron
Since1896
長野本社　長野市穂保 409-2
東京Office（グループ統括）バンコクOffice（アジア統括）パリOffice（欧州統括）
生産、開発拠点／長野工場　滋賀工場　タイ工場　素材開発センター
株式会社ニッキフロン・トレーディング（販売子会社）
NIKKI FRON(THAILAND)CO.,LTD.（生産子会社）
www.nipponkizai.co.jp

技術が生みだす、地球への贈り物。
果てしなく続く人類の夢…。
その夢ひとつひとつを
現実のものとするために、
不二越機械工業は、
常に未踏のフィールドへ、
果敢な挑戦を続けています。
●半導体加工装置の専門メーカー
不二越機械工業株式会社
長野市松代町清野1650 TEL026-261-2000（代表）FAX026-261-2100

感動を呼ぶ製品をめざして
省エネ精密空調機
ORION
1 完全ヒータレス
加熱源としてヒートポンプを応用
2 圧縮機のインバータ制御
負荷変動に応じ圧縮機回転数を自動制御
3 圧縮機にDCブラシレスモータ採用
DC化による効率向上
PAPシリーズ
オリオン機械株式会社
新事業開発部　〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
TEL(026)245-4097 FAX(026)245-4151
E-mail : kucho@orionkikai.co.jp

KLES
Q.メーカーサポートの終了した
電子機器の修理で困っていませんか？
A.そんな悩みに京西テクノスがお応えします。
対応実績
電子計測器3000機種以上、
各種コンピュータ、
電源装置各種、各種実装基板



京西テクノス株式会社
URL : http://www.kyosaitec.co.jp
■お問い合わせ　〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-25-2　TEL:042-303-0888